



# 生活環境改善事業

兵庫区社会福祉法人等連絡協議会  
(ほっとかへんネット兵庫)

## Q. ほっとかへんネットひょうご？

A. 平成28年に結成した兵庫区内で福祉施設を運営する  
26の社会福祉法人による協議体で社会福祉法人による  
地域公益活動の実施を主なミッションとしています。



## Q.どんな活動をしてるの？

A. 地域における課題のうち福祉の専門職ならではの取り組みを多数しており、そのひとつとして“生活環境改善事業”に取り組んでいます。



## Q.生活環境改善事業って？

A. “ごみ屋敷”と呼ばれる住居で生活が困難になっている方に対し、本人同意を得ながら、これまで**14世帯**の生活環境を改善してきました。



## Q. 対象者はどのような方が多い？

A. マスメディアに登場するようなごみ屋敷は少数派で、むしろ福祉課題を抱えている方が多くいらっしゃいます。

必ずしも単身世帯ばかりではなく、家族間の会話が無いなど表に見えにくい孤独・孤立がみられることがあります。



## Q. 今に始まった課題ではないのでは？

A. 従前からあった社会課題ではありますが、社会の孤独・孤立が進んできたことにより隣人など他者が気づきにくいこと、近年ゴミ出しのルールが複雑になったことも増加の一因や孤独・孤立を広げています。



## Q. どのような方が活動に参加しているの？

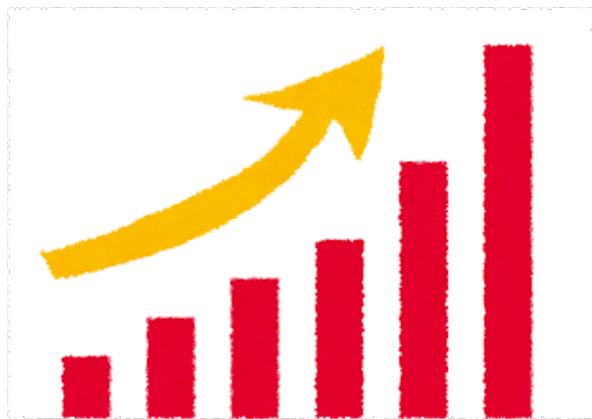
A. 会員の社会福祉法人で働く職員の皆さんです。

活動への思いを聞いてみると近年は福祉サービスの細分化により仕事の範囲が限定的なことから、生活環境の課題に気づいていながらも自分たちの仕事として対応できなかった現体験をお持ちのことが多いようです。



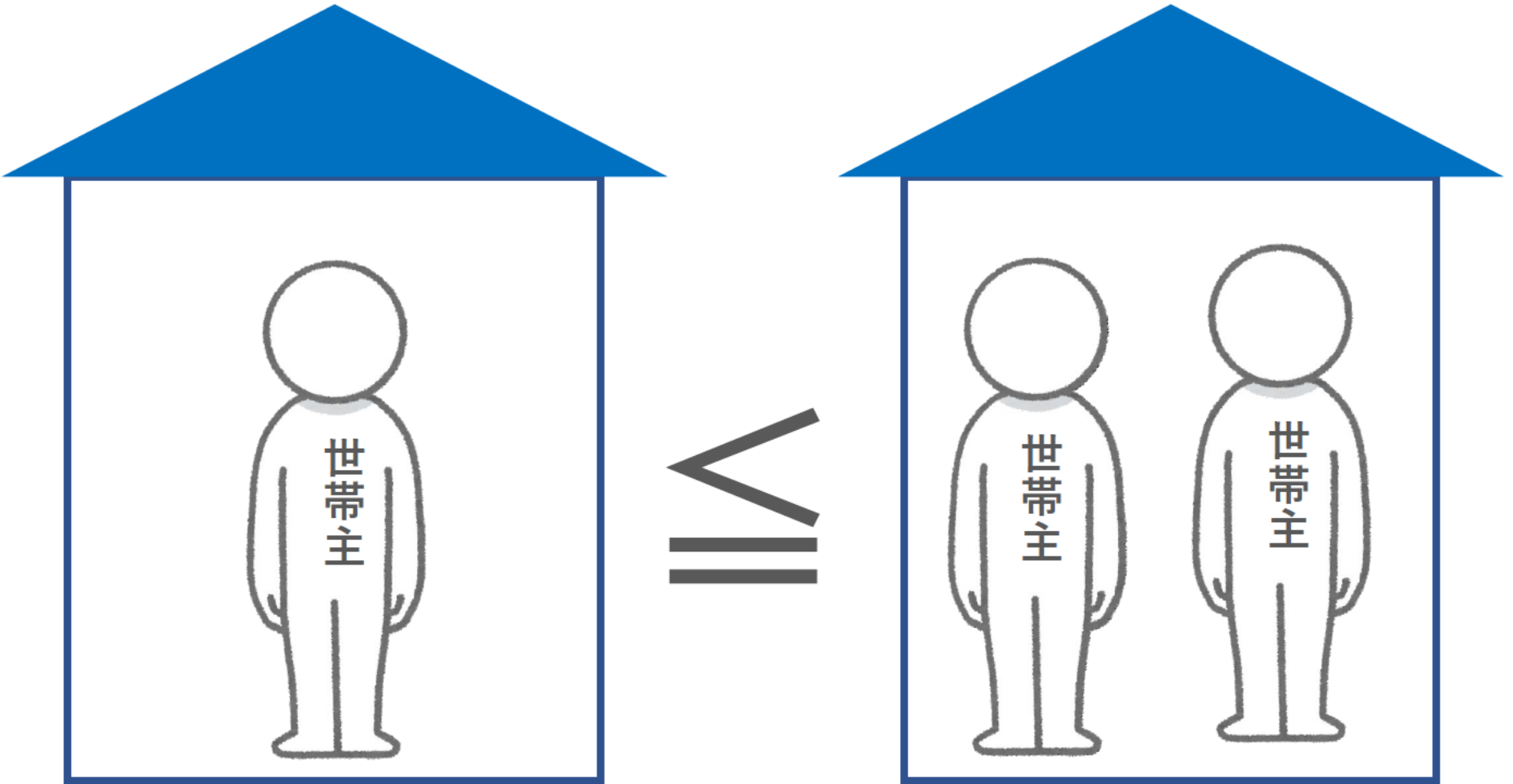
## Q. 実施の上での課題は？

- A. パンデミック下において福祉施設の職員が集まって活動することのリスクは大きく、実施できていない時期もあります。
- また、一部の福祉事業者や機関から安易な相談が増えており、対応に苦慮することもあります。





# 隠れた孤独・孤立





ご清聴ありがとうございました